

令和3年度一般選抜問題1期(1日目)解答  
数学I・数学A, 数学I・数学A・数学II・数学B

以下に解答を書きます。複数の解答が書かれている問題もありますが, ここに書いていない議論からも解答が得られることがあります。数学では解答への道筋は1通りではないことが多々あります。

**1**

$$\begin{aligned}(1) \quad & -4x^2 + 4x + 9y^2 - 1 \\ & = 9y^2 - (4x^2 - 4x + 1) = (3y)^2 - (2x - 1)^2 \\ & = (3y + 2x - 1)(3y - (2x - 1)) \\ & = (2x + 3y - 1)(-2x + 3y + 1)\end{aligned}$$

なお  $-(2x + 3y - 1)(2x - 3y - 1)$ ,  $(3y + 2x - 1)(3y - 2x + 1)$  なども正解です。

$$(2) \quad \begin{array}{l|l} 2x - 3 < 5x + 3 & 9x - 10 \leq 3x + 1 \\ -6 < 3x & 6x \leq 11 \\ -2 < x & x \leq \frac{11}{6} \end{array}$$

であるから,  $-2 < x \leq \frac{11}{6}$  を得ます。

(3) 仮定  $AB = BC$ ,  $\angle B = 90^\circ$  ですから,  $\angle CAB = \angle ACB = 45^\circ$  です。よって  $AB = BC = AD = a$  とおくと, 余弦定理より  $\triangle ABD$  において

$$(BD)^2 = (AD)^2 + (AB)^2 - 2AB \cdot AD \cos \angle DAB = a^2 + a^2 - 2a^2 \frac{\sqrt{2}}{2} = (2 - \sqrt{2})a^2$$

が成立します。よって  $(BE)^2 = \left(\frac{BD}{2}\right)^2 = \frac{(BD)^2}{4} = \frac{2 - \sqrt{2}}{4}a^2$  です。直角三角形  $ABE$  において

$$\sin^2 \angle BAE = \frac{(BE)^2}{(AB)^2} = \frac{\frac{2 - \sqrt{2}}{4}a^2}{a^2} = \frac{2 - \sqrt{2}}{4}$$

を得ます。よって, 次の値が得られます。

$$\cos^2 \angle BAE = 1 - \sin^2 \angle BAE = 1 - \frac{2 - \sqrt{2}}{4} = \frac{2 + \sqrt{2}}{4}$$

(4) ユークリッドの互除法を使います.

$$\begin{aligned}2475 &= 1078 \times 2 + 319 \\1078 &= 319 \times 3 + 121 \\319 &= 121 \times 2 + 77 \\121 &= 77 \times 1 + 44 \\77 &= 44 \times 1 + 33 \\44 &= 33 \times 1 + 11 \\33 &= 11 \times 3\end{aligned}$$

よって, 最大公約数は 11 です.

(5)

$$\begin{array}{r}1101_{(2)} \\+ 1010_{(2)} \\ \hline 10111_{(2)}\end{array} \quad \begin{array}{r}1101_{(2)} \\ \times 1010_{(2)} \\ \hline 1101_{(2)} \\ 1101_{(2)} \\ \hline 1000010_{(2)}\end{array}$$

よって  $a + b = 10111_{(2)}$ ,  $ab = 1000010_{(2)}$  です.

なお  $a = 1 \times 2^3 + 1 \times 2^2 + 0 \times 2^1 + 1 \times 2^0 = 13_{(10)}$ ,  $b = 1 \times 2^3 + 0 \times 2^2 + 1 \times 2^1 + 0 \times 2^0 = 10_{(10)}$  ですから,

$$a + b = 23_{(10)} = 10111_{(2)}, \quad ab = 130_{(10)} = 1000010_{(2)}$$

でも計算出来ます.

**2**

(1) 箱  $X$  から球  $a$  を取り出す確率ですから,  $P_A(B) = \frac{3}{9} = \frac{1}{3}$  です.

(2)  $P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)}$  ですから

$$P(A \cap B) = P(A) \cdot P_A(B) = \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{3} = \frac{1}{9}$$

です.

(3)  $B = (A \cap B) \cup (\bar{A} \cap B)$  であり, 事象  $A \cap B$  と事象  $\bar{A} \cap B$  は排反事象です. よって

$$P(B) = P(A \cap B) + P(\bar{A} \cap B) = P(A) \cdot P_A(B) + P(\bar{A}) \cdot P_{\bar{A}}(B)$$

です。一方

$$P(\bar{A}) = 1 - P(A) = 1 - \frac{1}{3} = \frac{2}{3}, \quad P_{\bar{A}}(B) = \frac{1}{9}$$

です。よって

$$P(B) = P(A) \cdot P_A(B) + P(\bar{A}) \cdot P_{\bar{A}}(B) = \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \cdot \frac{1}{9} = \frac{5}{27}$$

を得ます。

**3**

$f(x) = x^2 + 2x + 3 = (x+1)^2 + 2$  です。よって、 $t \geq -1$  のときは、 $-1 \leq t \leq x \leq t+a$  では、 $f(t) \leq f(x) \leq f(t+a)$  です。よって  $f(x)$  は  $x=t$  で最小値をとります。即ち  $f(t)$  が最小値です。

$t < -1$  の場合を考えます。

- $t < -1 < t+a$  を満たすとき、即ち  $-1-a < t < -1$  のときは、 $t < -1 < t+a$  ですから、 $t \leq x \leq t+a$  での最小値は  $x = -1$  のときで、 $f(-1) = 2 \neq f(t)$  です。一方、最大値が  $f(t)$  となるのは  $f(t) \geq f(t+a)$  の場合です。

$$f(t) \geq f(t+a) \iff (t+1)^2 + 2 \geq (t+a+1)^2 + 2 \iff t \leq -\frac{a}{2} - 1$$

です。仮定  $a > 0$  から  $-1-a < -1 - \frac{a}{2}$  ですから、 $f(t)$  が最大値となるのは  $-1-a < t \leq -1 - \frac{a}{2}$  の場合です。

- $t+a \leq -1$  を満たすとき、即ち  $t \leq -1-a$  のときは、 $t \leq x \leq t+a \leq -1$  では、 $f(t) \geq f(x) \geq f(t+a)$  です。よって  $f(x)$  は  $x=t$  で最大値をとります。即ち  $f(t)$  が最大値です。

以上の計算から、 $f(t)$  が最大値または最小値になるのは、 $t \leq -1 - \frac{a}{2}$  または  $-1 \leq t$  の場合です。

なお、次の様に計算しても良いです。 $f(t)$  が最小値でも最大値でもない場合は、 $t < -1 < t+a$  かつ  $f(t) < f(t+a)$  を満たす場合です。

$$f(t) < f(t+a) \iff (t+1)^2 + 2 < (t+a+1)^2 + 2 \iff t > -\frac{a}{2} - 1$$

から、 $-1 - \frac{a}{2} < t \leq -1$  を得ることが出来ます。よって  $f(t)$  が最大値または最小値になるのは、 $t \leq -1 - \frac{a}{2}$  または  $-1 \leq t$  の場合です。

4

- (1)  $\int_a^x f(t) dt = 4x^3 - 3x^2 + x - \int_0^1 f(t) dt$  の両辺を微分します.  $\left(\int_a^x f(t) dt\right)' = f(x)$  であり,  $\int_0^1 f(t) dt$  は定数ですから

$$f(x) = 12x^2 - 6x + 1$$

を得ます.

- (2) (1) より

$$\int_0^1 f(t) dt = \int_0^1 (12t^2 - 6t + 1) dt = [4t^3 - 3t^2 + t]_0^1 = 2$$

を得ます.

- (3) (2) より  $\int_a^x f(t) dt = 4x^3 - 3x^2 + x - 2$  ですから, 両辺に  $x = a$  を代入すると

$$0 = 4a^3 - 3a^2 + a - 2 = (a-1)(4a^2 + a + 2) = (a-1) \left\{ 4 \left( a + \frac{1}{8} \right)^2 + \frac{31}{16} \right\}$$

です. よって  $a = 1$  を得ます.

5

- (1) 加法定理より

$$3 \sin \theta - 4 \cos \theta = A (\cos \theta \cos \alpha - \sin \theta \sin \alpha)$$

です. よって

$$\sin \alpha = -\frac{3}{A}, \quad \cos \alpha = -\frac{4}{A}$$

です. 一方

$$1 = \cos^2 \alpha + \sin^2 \alpha = \frac{9}{A^2} + \frac{16}{A^2} \Rightarrow A^2 = 25$$

よって  $A > 0$  より  $A = 5$  です.

- (2) 底の変換公式より,  $\log_4 3 = \frac{\log_2 3}{\log_2 4} = \frac{1}{2} \log_2 3 = \log_2 \sqrt{3}$  ですから,  $2^{\log_4 3} = 2^{\log_2 \sqrt{3}} = \sqrt{3}$  です.

よって  $\tan \theta = \sqrt{3}$  かつ  $0 \leq \theta \leq 2\pi$  より,  $\theta = \frac{\pi}{3}, \frac{4\pi}{3}$  です.